

平成18年
(2006)



志報きかい

2

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No. 464



春爛漫

写真は、前鼻公園のヒカンザクラ。1987年、ライオンズクラブの会員が自ら重機を運転し、土を入れて植えた約100本のサクラは今年で20年目を迎える。一部は枯れてしまったが、島内でヒカンザクラがまとまって見られるのはここだけ。見ごろは1月中旬から2月初旬

今月の紙面

- 2～3面 新庁舎で業務開始
- 4～5面 国立歴史民俗博物館職員ら20人が山田中西・半田遺跡を視察
- 6面 さとうきび増産プロジェクト現地意見交換会
- 7～8面 まちの話題/保健師だより/栄養師だより
- 9～10面 お知らせ/国民年金だより
- 11面 教育委員会のとびら
- 12面 喜界歌壇/わが家のアイドル/戸籍の窓ほか



新庁舎で業務開始

豊かな町づくりに向け発進

～ 自立自興のシンボルに～



「湾六十一番地」にお別れ

新庁舎開庁式・コミュニケーションセンター開所式が二月二日、新庁舎正面玄関前であり、議会議員や区長会、小中高生代表、役場関係者らが新庁舎の完成を祝った。新庁舎は二月六日開庁し、新しい庁舎での業務が始まった。また、同時に地域インターネット事業も導入され、インターネットを活用した町民と行政の双方向コミュニケーションも始まった。加藤啓雄町長は開庁式で、「町職員ともども心を新たに、豊かなまちづくりへ一層努力する」と誓いを新たにした。六日には旧庁舎の開庁式もあり、四十七年間慣れ親しんだ庁舎に別れを告げた。

新庁舎開庁式(二月二日)

一昨年十一月から始まった新庁舎建設は二月、本庁舎の建設を終了し、六日開庁の運びとなった。それに先立つ二日、開庁式およびコミュニケーションセンターの開所式があり、関係者が新庁舎の完成を

祝った。

開庁式では「喜界町役場」の石碑の除幕式があり、湾小学校、三中学校、喜界高校の生徒代表五人と加藤町長、乾和夫町議会議長が名碑の除幕を行った。続いて第一中学校吹奏楽部の演奏で国旗・町旗の掲揚があり、澄み切った青空に真新しい二本の旗がなびいた。

最後に町三役、議会議長、晴永清道教育長ら七人がテープにハサミを入れ、町政の新たな門出を祝った。

加藤啓雄町長は、「行政水準の向上を図り、町職員ともども心を新たに、豊かな町づくりへ一層の努力を注いでいく」と決意と町民への感謝を

地域インターネット事業もスタート

～ 自宅から申請書など入手可能～

6日は本庁と出先機関、行政と住民を結ぶ地域インターネット事業もスタートした。庁内端末をLANで結び、本庁と各出先機関や各小学校を高速ネットワークでつないだ。役場(2台)、図書館、中央公民館にだれでも利用できるインターネット公衆端末を4台設置。ホームページ(<http://www.town.kikai.lg.jp>)もリニューアル、インターネットを活用し町民に行政情報を提供できる体制を整えた。今後は、自宅からインターネットを利用して届出、各種申請書や申込書などが入手できるようになる。また、庁舎西側の展望台にライブカメラを設置。ホームページからアクセスすれば、世界のどこからでも現在の喜界島を見ることができる。加藤町長は事業開始に当たり「情報化社会や住民ニーズに応じた行政サービスの充実に、なお一層努めていく」と、あいさつ。地域インターネットにより、地域格差のない行政サービスと住民の行政参画を推進する。同事業は総務省の補助事業を導入したもの。総事業費は7500万円。



ライブカメラも設置

述べた。乾議長は「新庁舎は自立自興のシンボルである。ぬよう、魂を込めて議論したい」と力強く語った。



新庁舎業務開始(二月六日)
 二月四・五の両日、全職員で引越し作業を進め、六日の業務開始に備えた。役場移転に伴い、バス路線も島内循環ルートが変更され、役場庁舎前を通ることになった。六日午前八時過ぎ、玄関前に一番バスが到着。加藤町長をはじめ町職員が拍手で迎える中、運転手と乗客に花束が贈られた。

また、コミュニティーホールで職員朝礼が行われ、加藤町長はフランスの小説家・ロマン・ロランの言葉「変え得るものを変える勇氣と、変えざるものに堪える勇氣」を引用し、「大切なものは守り続け、変化には素早く対応しなければならぬ。それが『勝』と『負』の分かれ目。意識を切り替え、創意・創造のできる職員、風通しのよい明朗な職場を期待する」と新庁舎で初の訓辞を述べた。



旧庁舎閉庁式(二月六日)
 旧庁舎は昭和三十四(一九五九)年に建てられ、既に四十七年の歳月が経過。老朽化や機構の拡大、課の再編、増改築等に伴い、行政上の不便



閉庁式は六日午後四時、旧庁舎玄関前であり、加藤町長、中島智一町議会副議長があいさつ、それぞれ万感の思いで旧庁舎に別れを告げた。第一中学校吹奏楽部の演奏で国旗・町旗を降納。「蛍の光」が流れる中、加藤町長、中島副議長が正面玄関の鍵を閉め、一世紀近い歴史に幕を下ろした。

新庁舎建設プロジェクト発足から18年

抱えていた。役場が旧庁舎の場所に建てられたのは、湾・早町の二方が合併し、喜界村となった明治四十一(一九〇八)年。大正九(一九二〇)年には、いったん分村し、喜界村は昭和十六(一九四一)年に町制を実施した。その後、喜界町と早町村は昭和三十一年(一九五六)年再び合併、一町一島となった。実に百年近くにわたり、喜界村、喜界町の行政は「湾六十一番地」で行われてきた。その意味で役場移転は、百年に一度の歴史的にも大きな出来事であった。

各地で市町村合併が進み、県内の市町村は九十六から四十九に減少する。上級官庁や他市町村からは「この時期に新庁舎…」との声もあつたが、新庁舎建設プロジェクト準備委員会発足(平成元年一月十二日)から既に十八年の歳月が流れたことを考えれば、町民、職員にとつて、「ようやく」の感がある。

開庁式で乾和夫町議会議長は、新庁舎を「自立自興のシンボル」と例えた。一町一島の道を選択した喜界町の「象徴」となるよう、職員一同新たな決意で歩まなければならない。

考古学者、一様に驚きの声

国立民俗博物館員ら20人が山田中西・半田遺跡を視察

太宰府との関連が指摘されている山田中西・山田半田遺跡を一月十四・十五の両日、国立歴史民俗博物館や太宰府市教育委員会関係者ら二十人が視察に訪れた。十四日には「喜界島（奄美）の歴史と民俗を語る夕べ」が中央公民館であり、遺物の鑑定を行った太宰府市教育委員会の中島恒次郎・山村信榮両氏は「国の施設や都（平安京）で出土した遺物がここにある。九州本土でもなかなか出るものではない。驚きだ」と語り、遺跡の重要性を指摘した。会場には約百三十人の町民が訪れ、考古学の専門家の話に熱心に耳を傾けていた。

「国家的色彩の強い遺物」



遺物を鑑定する中島氏（中央右）、山村氏（同左）

「喜界島（奄美）の歴史と民俗を語る夕べ」では、先に喜界島入りし、遺跡視察や遺物を鑑定した太宰府市教育委員会の中島恒次郎・山村信榮両氏が講演した。

山田中西、山田半田遺跡では古代・中世の中国、朝鮮半島の陶磁器や徳之島のカムイヤキ、岐阜県東美濃産の灰釉陶器（類）と朝鮮半島の初期高麗青磁（類）も、中島・山村両氏によって確認された。白磁は八世紀末から十世紀中頃の「優品」。中

島氏が「珍しい」と指摘した初期高麗は、十一世紀後半から十二世紀前半の磁器。白磁中心期の数少ない青磁で、こちらも「優品」という。その他、太宰府で奈良時代の終わり頃に初現する越州窯系青磁、類や鎌倉・室町時代の龍泉窯系青磁（中国産）、須恵器の蓋の破片、うるし塗りを模して作られた黒色土器、初期高麗青磁 類などが確認された。

中島氏は「国家的色彩の強い遺物が出ていると言える」とした上で、「これらの遺物は航路上の産物と考えることも可能。イメージとして、博多や堺の商人が中国と日本を行き来する過程で持ち込まれたのではないかと推測する。これには、商人が食器として使用していた和泉産の瓦器や東播磨産の須恵器の骨鉢が遺跡で確認できれば、裏付けられるが、今のところ確認されていない。山村氏も同じく、山田半田、

などが出土している。遺物を鑑定した中島氏は「主に奈良時代の後半から室町時代の遺物が出土している。中でも平安後期の陶磁器が多い」と指摘した上で、特に越州窯系青磁（類）に言及。「平安京や太宰府、もしくは鴻臚館（）など、都や国の施設で出土した越州窯系青磁が、喜界島でも出ている。九州本土でも出土例は少なく、なかなか出るものではない。驚きだ」と語った。

越州窯系青磁は、中国浙江省で作られた貿易陶磁器（中国や朝鮮半島、東南アジアなどの国々で生産された陶磁器）。日本では平安中期に使用された高級磁器で貴重品とされる。多くは国家的レベルの遺跡で出土している。

今回の調査団の来島で、山田中西、山田半田遺跡が考古学上また、歴史上極めて重要であることが改めて確認された。出土した遺物の中には特定の地域からしか出土しない古代、中世の陶磁器片が多数あり、琉球大学の池田榮史教授は「太宰府の出先機関があった可能性」を指摘している。

七〇一年、大宝律令が制定



初期高麗青磁Ⅰ類(朝鮮半島)
11C後半 山田半田遺跡



定窯・けい窯系白磁Ⅰ類(中国)
8C末~10C中頃 山田中西遺跡



越州窯系青磁Ⅲ類(中国)
9C後半~10C 山田中西遺跡



2号土坑墓から出土した白磁類(中国)
11C後半~12C前半 山田半田遺跡



滑石製石鍋(長崎県西彼杵半島)
10C~14C 山田半田遺跡



灰釉陶器(岐阜県東美濃)
10C後半 山田半田遺跡



土師器(本土産)
9C~10C頃



カムイヤキ(徳之島伊仙町)
11C~14C



3号土坑墓から出土した白磁(中国)
山田中西遺跡



上空から見た山田半田遺跡の掘立柱群



3号土坑墓から出土した白磁(中国)
山田中西遺跡

され、天皇を中心とした中央集権国家体制がしかれる。九州には大宰府が置かれ、九州の行政、外交、軍事を司ることになる。
文献上、「キカイガシマ」が初見されるのは九九八年の

『日本紀略』。「大宰府言上、下知貴駕島捕進南蛮由」とあり、大宰府からキカイガシマに南蛮(アマミ)追討の下知(命令)が下されている。これまでも研究者から、この「貴駕島」が「喜界島」である可能性が指摘されていたが、今回の調査で一段とその可能性が高まったといえる。そしてこれらの遺物は、古代から中世にかけての律令体制がどこまで及んでいたかを解き明かす糸口となりそうだ。

類 太宰府での分類

鴻臚館 平安時代に平安京(京都)、難波(大阪)、筑紫(福岡)の三カ所に設置された外交施設。筑紫の鴻臚館は、唐や新羅の使節を接待し、宿泊させる迎賓館であり、遣唐使や遣新羅使が旅支度を整える施設でもあった。また、対外貿易の窓口で、古代日本最大の国際交流拠点であった。九世紀~十一世紀中頃。

国、生産構造の転換求める

新制度移行に向け意見交換

来年七月からの新制度移行に向けた「さとうきび増産プロジェクト現地意見交換会」が一月十二日、自然休養村管理センターであり、宮腰光寛農林水産副大臣ら農水省の担当者と県、町、農協、生産者の代表が意見を交わした。宮腰農林水産副大臣は「農政は大きな転換期を迎えている。それぞれの島にあった増産計画を作成してほしい。これが最後のチャンス」と、関係機関の取り組み強化を求めた。農水省担当者は、市場動向を反映した取引価格制度や新たな経営安定対策の対象要件、今後のスケジュールについて説明。経営安定化対策では、地域担い手を中心とした生産組織や農作業受託組織の育成、法人化の推進が求められ、地域によっては担い手育成組織の立ち上げが必要となることから、町では全農家の実態調査を早急に行い、生産計画を立てることになる。

さとうきび増産プロジェクト現地意見交換会

宮腰光寛農水副大臣

「これが最後のチャンス」

新制度では、これまでの最低生産者価格は廃止され、市場の需給事情を反映した取引価格が反映される制度へと移行する。また、安定的生産を確保するため、地域の担い手を中心とした生産組織や農作



業受託組織の育成、法人化の推進などが基本方向として定められた。

政策見直し後の生産者の収入は、取引価格（糖業者から支払われる品代）による収入と、経営安定対策（国から直接支払）による収入の二種類で構成される。取引価格は、市場動向（甘しや糖価格動向）を反映するため、甘しや糖の価格を生産者と糖業者の間であらかじめ定めた比率により分配される（収入分配方式）。この取引価格は生産者（JA）と糖業者との間で結ばれるが、分配比率については、県段階に關係者の協議の場を設ける。また、経営安定対策の対象

者には要件があり、認定農業者、特定農業団体またはこれと同様の要件を満たす組織、収穫作業に一定の作業規模（1）を有する者、収穫作業に一定の作業規模の共同利用組織（2）に参加している者、もしくはの要件を満たす者または収穫作業に一定の作業規模を有する受託組織若しくはサービスマターに基幹作業（3）を委託している者の条件がある。

受託組織が存在しない地域においては、三年間（平成十九～二十一年度）に限って、地域のキビ生産農家の二分の一以上が参加して、受託組織等の生産体制の核となる担い手育成を行うことを目的とする組織に参加する者を対象とすることができる。

つまり、経営面積が一畝以下の個人農家は、共同利用組織に参加するか、基幹作業の一部を委託するか、担い手育成を行うことを目的とする組織に参加しなければ、経営安定化対策費の交付を受けられないことになる。

農林水産省は、「高齢化に伴う栽培管理の粗放化が進む中で、サトウキビの安定的生産を確保するためには、地域の担い手を中心とした生産組織や農作業受託組織の育成、法人化の推進が必要」とし、生産構造の転換を強く求めた。

増産プロジェクトの基本方針には「平成二十七年度産までに収穫面積に占める株出栽培の面積を一割程度増加させるとともに、株出栽培の単収を二割程度向上させる」目標が掲げられ、島ごとの増産プロジェクト会議を設置し、生産体制や担い手育成、地力増進対策、病害虫対策、干ばつ・台風対策などの取り組みの方策を決定しなければならぬ。また、その実施結果の検証も求められた。

これを踏まえ、県や町では三月までに、農家の実態調査を行うとともに、増産プロジェクトに基づく生産計画をいそがなければならぬ。

- 1 個人一畝・組織四・五畝。受託面積含む
- 2 特定されたオペレーターにより基幹作業が実施されているものに限る
- 3 耕起・整地、株出管理、植え付け、収穫のうち自分の間いずれか一作業



4.2
キ
ロの
ミズイカ

「一生に一度の大物」

藤山茂樹さん(手久津)が釣る

喜界島の冬の海の味覚と言えば「ミズイカ」。正式名は「アオリイカ」といい、キロ二千五百円前後の値で取引される高級品だ。沖だけでなく、磯でも釣れることから、一般の釣り師にも人気がある。通常は一〜二



キロクラスだが、手久津久集落の漁師・藤山茂樹さんは二月五日午後十時ごろ、中里沖で四・二キロのミズイカを釣り上げた。藤山さんは、「一生に一度の大物」と満足げ。

仕掛けは魚をかたどった「沖縄針」という木製擬餌針。主に磯や船釣りを使う。潜水漁師の藤山さん、擬餌針は水中に見つけた。当日は波が荒いので潜るのをやめてイカ

茨城ゴールデンズに喜界ゆかりの選手

樋口 寿人さん(23) テレビでお馴染みの萩本欽一さん率いる茨城ゴールデンズに、両親が喜界島出身の選手がいる。樋口寿人さん(23)の父は志戸桶、母は



荒木集落出身。寿人さんは小学校二年生から野球を始め、高校は名門大阪桐蔭に進学。一時は元大リーガー野茂英雄が主宰するNOMOKクラブに所属していた。ゴールデンズ入団には意外なエピソードがある。入団テストはすでに終わっていたが、欽ちゃんから一打席チャンスをもたらした。「ヒットを打ったら入団させるよ」。見事、クリーンヒットで勝負

引きに出、「試しに使ってみたら、これまでの自己最高」。思わぬ拾い物が福を呼んだ。巨大ミズイカは、店頭に並ぶころには二万円ほどの値がつく。「今シーズンはあまり揚がらない」というが、昨年の極真空手四十歳以上の部門で、全国二位の猛者は、今日も夜の海で獲物を探し続ける。

強さを見せた寿人さん、入団後は元巨人・鹿取義隆ヘッドコーチの指示でピッチャーに専念。社会人野球とはいえ収入は少なく、アルバイトをしながら「年間百試合をこなす厳しい世界」。先日、休暇で訪れた両親の故郷では叔父の店を手伝いながら久々にのんびりと過ごし、鋭気を養った。プロ野球選手という夢を追い求めて。

保健師だより

今年の四月から、介護保険が変わります。今までの介護保険サービスのなかで効果を上げることができなかった介護度の軽い高齢者に対するサービスが強化され、「介護予防」「自立支援」の考え方が徹底されます。

「できないことを代わりにしてあげるのではなく、「できる」を増やすことで、「している」を現実させる」を目標に、サービスを提供していくことになりました。

「できる」ことを増やそう

介護保険のサービスを利用する前に、まず、「本人や家族、集落の皆さんの努力や協力があればできることではないのか」が検討されます。

筋力低下が原因のときには、新しく取り入れられた運動機能向上のサービスで訓練を行います。栄養改善や、口腔機能の改善のプログラムも開始されます。担当のケアマネジャーや

家族と相談しながら、本人ができるだけ自立した生活をするために一番いい方法は何かを考えていきます。今までは、立ち上がりや起き上がりはきつくなってきたけど、歩くのはまだ大丈夫という高齢者にもヘルパーを派遣してきましたが、四月からは、要介護一までの方には、原則としてヘルパーの派遣はできなくなります。電動車椅子、電動ベッドも同じように要介護一までの方は利用できません。現在サービスを利用されている皆さんは、経過期間もありますので担当のケアマネジャーと相談して下さい。

四月からは、「地域包括支援センター」が、すこやかセンター内に設置され、六十五歳以上の皆さんのすべての相談に応じ、対応していきます。

ソーデーよりハナサ

一中九年会が73歳記念祝賀会



「生声の八月踊りは最高」と時を忘れ、盛り上がった。

倉本さんは「ソーデー（兄弟）よりハナサ（仲がよい）。何でも話せる同窓生」と、苦

寒さなんか吹き飛ばせ

少林寺道場がスギラビーチで寒中稽古

少林寺拳法喜界道場（界田満仁道場長）恒例の寒中稽古が一月八日、スギラビーチで行われた。今年も厳しい寒さの中、幼稚園児から六十一歳まで、大人八人、子ども二十五人が海に入り、気合いの入った稽古を見せた。

ランニングや準備体操、基礎稽古で体を温め、いよいよ海へ。子どもたちは一瞬、「寒む」。しかし、気を入

り、まさに戦争の真つ直中は、まさに倉本禎彦さんは「赤木の下でソーマン箱で勉強した。雨が降れば家へ帰され、一番苦労して勉強した時代」と厳しい時代を語る。

祝賀会ではまず厄払いをし全員の健康、長寿を祈願、カラオケや舞踊で楽しんだ。最後は荒木の同窓生が八月踊りを歌い、全員で輪になった。皆、

労をともしした同窓生の絆の強さを強調する。六月には全国同窓会も計画されており、「今から楽しみ」とニッコリ笑う顔は、古希とは思えぬほど若々しく輝いていた。



少林寺道場がスギラビーチで寒中稽古

れ直し徐々に膝、腰、最後は胸までつかり、寒さを振り払うように、大きな声で稽古をこなし。

浜に上がり記念撮影が済むと、さすがにたき火に向かって一目散。用意されたせんざいで冷え切った体を温めた。

今年の鹿児島大会・茶帯型の部で優勝した三浦大輝くん（五年）は「寒いけど、気合いで海に入った。体も心も引き締まる感じがする」。

少林寺拳法は、守りと反撃からなる護身の術。創始者は宗道臣（一九一〇〜一九八〇）。「自己確立」と「自他共楽」を説き、技術を身につけることでイヤなものはいやと言え、自信と勇気をつけ、人と人が協力し合う楽しさを学ぶことに修練の目的をおいている。

「野草のお話と野草つみ料理体験」が、一月二十八日、坂嶺生活館で行われた。子どもから大人まで計三十六人、町の推進員十四人が参加。対象の坂嶺校区子ども育成会以外にも、誘いあつていゝんな集落から集まった。

野草・薬草に詳しい町嘱託獣医師の高坂嘉孝先生を講師に、島に自生する野草のサンプルを手に詳しい説明を受けた後、坂嶺生活館周辺の野草探索と野草つみに出かけた。時期の野草を前に、「野草には食用や薬草になるものもあれば、有

害なものもある」時々、野草を食べることで野菜では代替できない自然の恵みを摂取することができる」など野草について学んだ。自然の害益を知ると同時に島の自然の豊かさを学ぶ機会となった。

栄養師だより

「野草のお話と野草つみ料理体験」



続いて、摘んだ野草を使って食生活改善推進員・健康づくり推進員が簡単な野草料理を紹介。試食タイムではあつという間に料理はなくなつたが、特に好評だったのは、ポタンポウフウのてんぷら・ツルナのお餅とじ・ツルナのお焼き・ホソバワダンの白和え。

この催しは、あまみ長寿子宝ヘルスプロモーション事業・喜界町のまちづくりにおいて、本年度の活動項目の一つとして計画・実施された。参加者からは、次の機会には家族で参加したい・手に触れることもなかった野草にも興味があつた・雑草と見ていた野草がいろいろんな料理に変化して驚いた・散歩に行ったら、よく見て、野草摘みをしてみたい・などの感想が寄せられた。

農薬散布場所での採取は気をつけましょう。

農薬散布場所での採取は気をつけましょう。

お知らせ

自動車の名義変更・抹消登録の手続きは確実に！

自動車税は、毎年4月1日現在で車検証に記載されている自動車の所有者または使用者に納めていただく税金です。

そのため、自動車を下取りに出したり廃車にした場合でも、移転登録や抹消登録が済んでいなければ、いつまでも元の所有者または使用者に税金がかかってきます。

まだ移転・抹消の登録が済んでない方は、3月末までに必要な手続きをとってください。

問い合わせ先
自動車の登録手続きについては
鹿児島運輸支局登録部門

☎099(261)9193
大島自動車検査登録事務所

☎0997(52)0757
自動車税については

県自動車税管理事務所
☎099(261)5611

または大島支庁財務課
☎0997(57)7225

変わります！

自動車税の「月割計算」

平成18年4月1日(土)から県域を越える自動車の転出入における自動車税の月割計算が廃止されます。

引越や売買によって自動車ナンバーが他の都道府県のナンバーに変わっても、その年度における自動車税の月割計算による還付や新たな課税がなくなります。

【例えば】

4月1日現在に住んでいたA県で自動車税を納めました。その後、B県へ引越し、B県のナンバーに変更登録しました。

今までは、B県からは自動車税が月割で新たに課税され、A県からは自動車税が月割で還付されていました。

平成18年度以降は、月割計算による新たな課税も還付もなくなり、引越し先のB県からは翌年度分から自動車税が課税されます。

問い合わせ先

県庁税務課

☎099(286)2202

自動車税管理事務所

☎099(261)5611

または、大島支庁財務課

☎0997(57)7225

小規模企業共済制度加入促進強化期間(平成18年2月15日～3月15日)

小規模企業共済制度とは、小規模企業の個人事業主または会社等の役員の方が事業をやめたり退職した場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金を準備しておく国の共済制度。「経営者の退職金制度」ともいわれ、掛金・共済金に対する税制面での優遇措置や掛金総額に応じて各種貸付けが受けられます。どうぞ、ご利用ください。

加入できる方

常時使用する従業員が20人以下(商業・サービス業では5人以下)の個人事業主および会社の役員など

掛金 月額千円～七万円

問い合わせ先

最寄りの商工会議所、商工会、県中小企業団体中央会、金融機関の本支店など

【問い合わせ先・関連ホームページ】

県庁商工政策課

☎099(286)2935

確定申告書は自分で書いてお早めに

平成17年分の確定申告の準備はお済みでしょうか。期限間際になりますと非常に混雑が予想されますので、早めの申告と納税をお願いします。

なお、申告と納税の期限は次のとおりです。

・所得税・贈与税

3月15日(水)まで

・個人事業者の消費税および地方消費税

3月31日(金)まで

所得税・消費税の申告書は、それぞれの「確定申告の手引き」を参考に記載していただくか、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で簡単に作成できますので、ぜひ、ご利用いただき、申告と納税は早めにお済ませください。

なお、贈与税の確定申告は「贈与税の申告のしかた」を参考に作成することができます。また、確定申告書の提出は郵送などでもできます。

問い合わせ先

大島税務署

☎0997(52)4321

鹿児島税務署

☎099(255)8111

税務相談室鹿児島分室

☎099(255)8118

ヤミ金融などの被害に気を付けて！

悪質なヤミ金融の被害にあって後を絶ちません。借入れする場合は正規の貸金業者かどうかを確認しましょう。

全国の財務局・都道府県の登録貸金業者ですか？(登録番号を詐称している場合もあるので注意が必要です)

出資法で定められている上限金利(年29.2%)を超えていませんか？

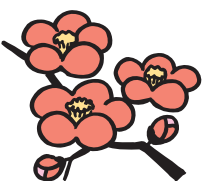
融資前に保証料などの名目で口座への振り込み指示をするような業者ではありませんか？もし、被害にあつたら、すぐに最寄りの警察署にご相談ください。

問い合わせ先
県庁経営金融課

☎099(286)2946

九州財務局鹿児島財務事務所

☎099(226)6155



病害虫のまん延防止にご協力を！

奄美群島・トカラ列島・沖繩には、サツマイモに大きな被害を与えるアリモドキゾウムシや、カンキツ類に被害を与えるカンキツグリーニング病などの病害虫が発生しています。

これらの病害虫の寄主となるサツマイモ・アサガオやカンキツ類の苗木などは、法律により発生地域から未発生地域への移動が規制されています。

これらの病害虫がまん延しないよう手荷物や小包等で「持ち出さない」「送らない」「送つてもらわない」「よつこ」協力をお願いします。

問い合わせ先

県庁食の安全推進課

☎099(286)2891

住宅金融公庫ローン返済でお困りの方へ

住宅金融公庫ローン返済でお困りの方(倒産など勤務先の事情により収入が減少した方、家業の不振により収入が減少した方、病气やけがなどにより支出が増加した方など)については、返済月額を

軽減できる場合があります。ご返済中の金融機関または住宅金融公庫に、遠慮なくご相談ください。

問い合わせ先

住宅金融公庫南九州支店

☎096(387)2000

麻しん・風しんの予防接種

平成18年4月1日から麻しん(はしか)と風しんの予防接種が2回接種制度に変更になり、対象年齢も変わります。

現在、麻しんと風しんの予防接種の対象者(生後12カ月〜90カ月までの方)であっても、来年度から予防接種の対象から外れる方もいます。

まだ、予防接種を受けていないお子さんがいらっしゃる保護者の方は、お住まいの市町村に確認のうえ、ぜひ今年度中にお子さんへの予防接種をお勧めします。

問い合わせ先

県庁健康増進課

☎099(286)2724

マンションの構造安全性等についての相談窓口

構造計算書偽造問題に関連し、マンションなどの建築物の構造の安全に関する相談窓

口を設置しましたので、ご利用ください。

総合相談窓口

県庁建築課

☎099(286)3710

総合相談窓口(鹿児島市内)

鹿児島市役所建築指導課

☎099(216)1359

構造計算書等建物安全性についての相談窓口

(社)県建築士事務所協会

☎099(223)6363

(社)県建築士会

☎099(222)2005

(社)日本建築構造技術者協会(鹿児島地区)

☎099(226)7373

県建築構造設計事務所協会

☎099(228)6784

県庁建築課

☎099(286)3710

春季全国火災予防運動 (3月1日~7日)

例年、3、4月は空気が乾燥し、風の強い日が多く、火災の発生しやすい時期。日ごろの防火意識を再確認し、火の取り扱いには細心の注意を払いましょう。

国民年金だより

国民年金保険料は便利な口座振替で！

国民年金保険料は口座振替を利用すると納め忘れがなく、また、毎月納めに行く手間が省けて便利です。さらに、保険料は翌月末(末が金融機関非営業日のときは翌営業日)が納期限で、口座振替もこの日に振り替えられますが、これを当月末の振替へ変更すると、毎月保険料が割引されます。平成17年度に保険料を口座振替にしていた方で、13,540円振り替えられている場合は、すでに当月末払いになっています。13,580円振り替えられている場合は翌月末払いをされています。翌月末払いを、割引のある当月末払いに変更する場合は、届出が必要です。

さらにお得になる方法として口座振替の前納制度があります。口座振替前納には1年分前納と6カ月分前納(4月~9月分と10月~翌年3月分)ができます。平成18年度の1年分と4月~9月分の口座振替前納は、社会保険事務所に3月20日必着です。金融機関に届出する場合は日にちがかかることがありますのでご承知おきください。口座振替の前納を出し忘れてしまった、という場合は、納付書で前納することができます。口座振替の前納より割引額は少なくなりますが、毎月納めるよりもお得です。口座振替の手続きはお近くの社会保険事務所または金融機関へ。

異動の際は、届出を忘れずに！

春は、就職・転職・進学など、異動の多い季節です。下記のような場合は届出が必要になりますので忘れずに提出してください。

20歳になったとき 離婚や収入増で配偶者の扶養から外れたとき 退職したとき 配偶者に扶養されるようになったとき 厚生年金保険や共済組合に加入する 就職したとき(手続きや相談の際は、年金手帳や印鑑を持参してください)

鹿児島社会保険事務局年金課 ☎099-812-0151

教育委員会のついで

初めての雪に大感激
きかいつ子アドベンチャーの旅



初めて触れる雪に大喜び



菱刈町の子ともと交流



菱刈町長を表敬
訪問

平成十八年一月三日(火)から一月七日(土)までの四泊五日の日程で、「きかいつ子アドベンチャーの旅」を実施しました。

この事業の趣旨は、町青少
をを図ること。今回は、町内各学校から参加申込みのあった小学生十一人、中学生三人、高校生一人が参加、生涯学習課職員、保健師が引率しました。

年育成交流事業の一環として太平洋戦争時の疎開が縁で姉妹町盟約している菱刈町との交流を主に、次世代の喜界町を担う心豊かでたくましい青少年の育成

特攻平和館で戦争を学ぶ



湾港待合室で結団式を行い、第一中三年の幸里菜子さんがこの事業に対する決意表明をしました。

一月四日(二日目) 知覧町の武家屋敷を散策したあと、特攻平和館やホテル館で館長から説明を受け、戦争の悲惨さを教わりまし

た。その後、菱刈町役場を表敬訪問し、喜界高校三年の久永千恵さんが代表挨拶をしました。

一月五日(三日目) 朝一でゴミ処理施設の「未来館」を訪問しました。この施設は山手にあるため、周りには雪が積もっており、辺り一面銀世界でした。雪を身近

で見るのは初めての子どもがほとんどで、早速雪合戦や雪だるま作りで楽しみました。ここでは、空き瓶に砂で模様をつけるサンドブラストなどのリサイクル工作を体験したり、施設見学をしました。

一月六日(四日目) 鹿児島市に移動して観覧車やボウリングを楽しみました。一月七日(五日目) 喜界島に全員無事到着して解団式を行い、第一中二年の隈崎絵美子さんがお礼の挨拶をしました。

埋蔵文化財発掘調査作業・整理作業員募集

平成十八年四月中旬から平成十八年九月末まで埋蔵文化財(遺跡)発掘調査および整理作業を実施するに伴い、作業員を募集します。

四 その他 申込みおよび詳細については、中央公民館(澄田)までお問い合わせください。六五〇二二九

奄美奨学会の奨学生募集

奄美奨学会では、今春高校を卒業し進学する奄美群島出身の学生のうち、学術優秀・品行方正・心身健康でありながら経済的理由により修学困難な者に対して奨学資金の援助をしています。奨学金を希望される方は、申し込みおよび詳細について町教育委員会総務課までお問い合わせください。六五・一一一一(内線五二)

わが家のアイドル



島袋 しまぶくろ

七海翔 なななと

くん (1歳1カ月)

父=涼次 母=咲也香
<塩道>

島袋家の長男・七海翔は食欲旺盛のシシボー。周囲の人たちみんなに可愛がってもらえる幸せ者です。たくましく、思いやりのある優しい男の子になってほしいと願っています。(父・母)

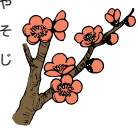


おの 小野 けんしろう 賢志朗 くん
(6歳2カ月)

父=信一郎 母=優子 <赤連>

喜界島にきてもうすぐ3年。小さい頃は甘えん坊の恥ずかしがり屋でママから離れなかったのに、今では赤連グラウンドを友達と元気に走りまわっています。これからもたくましく、のびのびと育ってほしいです。(父・母)

喜界歌壇



新しい年を迎えて八十路な
ば生かされる身のありがたか
りき 有村 道子
冬の日ほボツリと落ちて外も
内も薄墨色に今日の幕引く
竹田ヨシ子

猫もわれも老いしと思ふ冷ゆ
る日はこたつに丸く音なく籠
る 郡 市子
背を冬の日はすかいに射す
美代 イシ
小雨止み浦原へ向ふ車いすの
屋良ミノ子

参道を夫に添いつつゆく畦路
黄の石路咲きて花あかりする
林 蓮香
新しき五年日記に七十路とな
りし吾が生つましく記さん
武田 幸子

冬の日夜更けの街を救急車
高く冷たき音刻みゆく
平尾 チヨ
さざ波の寄する海辺に憂さ晴
らす過ぎし喜界の生活を思
う

寒に入りキビの糖度はなお上
がる豊作喜び収穫進む
短歌に吾がこころ支えつ新し
き年の始めの推敲をなす
弥島 幸子

戸籍の窓

10月届出

こんにちは 赤ちゃん

花良治	白里	中里	荒木	川口	坂嶺	吉留	谷村	吉留	氏名	保護者	住所
邦	中	田	川	岩	須	七海	七海	七海	七海	七海	七海
吉田	邦	中	田	川	岩	七海	七海	七海	七海	七海	七海
満	マ	明	武	三	賀	歩	昌	昌	昌	昌	昌
85	94	74	86	84	91	赤	赤	赤	赤	赤	赤
才	才	才	才	才	才	連	連	連	連	連	連

いつまでも お幸せに

竹之下	南	林	豊島	眞田	嶺倉	俊原	牧口	本中	吉行	谷村	吉留	氏名	保護者	住所
由香	昭仁	美樹	直樹	里恵	克己	小梅	美樹	結羽	雅弥	七海	七海	七海	七海	七海
由香	昭仁	美樹	直樹	里恵	克己	小梅	美樹	結羽	雅弥	七海	七海	七海	七海	七海
中間	志戸	香川	白水	上嘉	滝川	光広	守	祥夫	進	昌文	昌文	昌文	昌文	昌文
85	94	74	86	84	91	坂	赤	湾	湾	羽	赤	赤	赤	赤
才	才	才	才	才	才	嶺	連	連	連	連	連	連	連	連

……喜界町の推計人口……
(平成18年1月31日現在)

世帯数……3 803戸 (10)
人口……8 503人 (19)
男 ……3 973人 (3)
女 ……4 530人 (16)
—— () は前月比 ——

中里	大阪府	上嘉鉄	荒木	花良治	坂嶺	川嶺	池治	荒木	赤連	香典返し
寿	澤	西島	田島	吉田	岩松	加藤	奥	林	加島	山口
八重	新一	常吉	廣行	ヒサ子	太一	みね	豊	勇夫	文隆	乙女
池治	志戸	上嘉鉄	澤	西島	岩崎	志戸	岩崎	志戸	岩崎	志戸
池治	志戸	上嘉鉄	澤	西島	岩崎	志戸	岩崎	志戸	岩崎	志戸
86	100	88	73	68	才	才	才	才	才	才

社協だより